

## 新築・増築家屋の調査

固定資産税の評価算定のため、今年の1月2日以降に新築または、増築された家屋の調査を、7月から行います。

課税課の職員が順次、調査に伺いますので、ご協力をお願いします。

訪問日時（平日の午前9時～午後4時）の希望がある人は、同課家屋グループ（☎47-8178）へご連絡ください。



### 介護保険

## 更新手続きをお忘れなく 食費・居住費の減額認定

介護保険制度で、施設サービスや短期入所サービスを利用したときに、住民税非課税世帯の人は、申請により食費と居住費の負担が軽減されます。現在の認定証の有効期限は7月31日です。

8月以降も継続を希望する場合、6月中旬以降に郵送する申請書に必要事項を記入し、本人と配偶者（配偶者がいない場合は、本人のみ）の預貯金通帳や有価証券などの写しを添えて、7月17日までに介護保険課へ提出してください。新規申請も随時受け付けています。

介護保険制度の改正により、8月から居住費と食費の負担限度額が変わる段階があります。詳しくは、同課（☎47-7406）へ。

（注）住民税非課税世帯の人でも、次の①②に該当する人は対象になりませんのでご注意ください。

- ①配偶者が住民税課税の場合（世帯分離をしている場合も含む）
- ②預貯金・有価証券などが、下表の金額を超える場合

所得の状況		預貯金などの資産の状況
本人の年金収入額 (非課税年金を含む) + その他の合計所得金額	82万6,500円以下	単身 650万円 夫婦 1,650万円
	82万6,500円超 120万円以下	単身 550万円 夫婦 1,550万円
	120万円超	単身 500万円 夫婦 1,500万円

※第2号被保険者の預貯金などの資産の状況は、単身1,000万円、夫婦2,000万円です  
※課税世帯であっても、該当する場合があります。要件など詳しくは、同課へお尋ねください

### 市民病院・豊田院長の 健康コラム No.27

## 手術で完治する そけいヘルニア(脱腸) ～悩むより、治しましょう～

皆さん、こんにちは。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第27回をお届けします。

市民病院の外科では、この夏から「ヘルニアセンター」を開設します。対象となるのは「そけい(鼠径)ヘルニア」という疾患、いわゆる「脱腸」です。

そけいヘルニアというのは、足の付け根のところの皮膚が内側から膨らんでくるのが症状です。これは腸がお腹を支える筋肉の隙間から顔を出して起こる症状です。胃や腸はお腹の中にあるわけですが、お腹のどこかに固定されているわけではなく、「お腹」という空間の中に放り込まれているだけなのです。そこで立ったり座ったりすると重力で胃腸、特に腸は下の方に下がってきます。お腹には腹膜という膜と、その外側を覆う筋肉があり、専らこの筋肉がお腹の臓器を支えています。この筋肉が緩むと隙間ができ、下がってくる臓器＝腸が支えられず筋肉の隙間から皮膚の内側に出てきて、結果として足の付け根のところが膨らんでくるのです。つまり膨らんだものは筋肉の隙間から顔を出した腸なのです。大抵は横になれば重力の向きが変わって腸はお腹の中に戻ります。

そけいヘルニアが命に関わる危険は大変低いのですが、特に隙間が狭い場合など、一度隙間から顔を出した腸が何かの拍子でお腹の中に戻らなくなったりすると「嵌頓(かんとん)」という状態になります。場合によっては腸が隙間のところで締め付けられて、飛び出した腸の部分に血液が行かなくなって壊死し、結果として腸が破れてしまうということが起きないわけではありません。また何より不快ですよ。



## 環境美化にご協力ください

～マナーを守り まちを美しく～

市は、市民の皆さんのご協力により、清潔で美しいまちづくりを進めています。一人一人の心がけで、日ごろから美しいまちを保ちましょう。詳しくは、環境政策課（☎47-8571）へ。

- ▶空き缶・ペットボトル・たばこの吸い殻などのポイ捨てはやめ、指定場所に捨てるか、持ち帰りましょう。
- ▶土地の所有者・占有者・管理者は、雑草が生い茂らないよう、定期的に草取り・清掃をしましょう。



市HP

## 動物を飼うときなどはマナーを守りましょう！

### ▶犬のふん尿の後始末をしましょう

放置された犬のふん尿は、誰もが不快に思います。犬を散歩させるときには、飼い主が必ずふん尿を始末しましょう。

### ▶飼い猫は室内で飼いましょう

ふん尿で周りに迷惑を掛けることを防ぐとともに、交通事故や感染症から飼い猫を守ることもつながります。

### ▶動物を安易に捨てることはやめましょう

動物を安易に捨てることで、その動物がエサを求め、地域で繁殖するなどの問題を引き起こす恐れがあります。



市HP

## 飼い主のいない猫の 不妊手術等の費用を補助

- ▶対象／市内在住で、市内に生息する飼い主のいない猫の不妊手術（動物病院への依頼）などを行う人
- ▶補助金額／オス1匹あたり3,000円、メス1匹あたり4,000円を限度額とし、限度額に達しない場合は、実際に手術に要した額 ※要事前申請
- ▶申請方法／令和9年1月31日（予算内で先着順）までに、環境政策課で配布の申請書（市HPからダウンロード可）に必要事項を記入し、同課（☎47-8571）へ



市HP

立ってそけいのところが膨らんでくると歩く時に気になりますし、力を入れて踏ん張れなくなったりもします。

そけいヘルニアへの対策としては強めのタイツを履いたり、立った時に腸が落ちてこないような装具をつけたりすることもあります。効果は低く、根本的な治療は手術で緩んだ筋肉の隙間を補強するしかありません。そけいヘルニアの手術方法は、そけいのところの皮膚を切開して筋肉を出し、そこをメッシュで補強する手術と、最近では腹腔鏡でお腹の中から緩んだ筋肉にアプローチして、そけい部の皮膚に傷が残らないようにする手術があり、その人に応じて使い分けています。1泊2日か2泊3日の治療で完治することが可能です。市民病院には東海地方のヘルニア手術の第一人者の先生である高山祐一先生がおり、ヘルニアセンターを担当してくれる予定です。

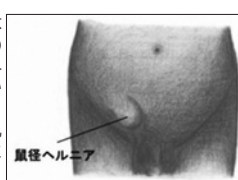
そけいヘルニアでお悩みの皆さん、立つと出てくる足の付け根の膨らみをいつも気にしていたり、もしかしたら嵌頓して腸が壊死するかもしれないなどとずっと悩んでいたりでないで、手術で治してしまったりいかがでしょうか？一度市民病院のヘルニアセンターにご相談ください。長年の悩みが簡単に解消するかもしれませんよ。

コラムで取り  
上げてほしい話  
題などは、入力  
フォームへ



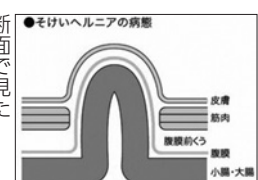
入力フォーム

そけいの外からヘルニアを見た



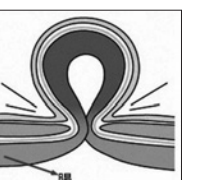
そけいのところが膨らんでいます

そけい面で見たヘルニア



緩んだ筋肉の隙間から腸が顔を出しています

嵌頓の状態



腸が隙間の部分で強く締め付けられています